



医療法人社団哺育会
白岡中央総合病院

病院
理念

「安全で確実な
わかりやすい医療」

kizahashi

きざはし

113

2025年1月発行

謹賀新年

2025





白岡中央総合病院
院長 橋本 視法

あけましておめでとうございませす

皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は白岡中央総合病院へ多大なるご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年を振り返りますと、相次ぐ自然災害、急激な物価高騰、そしてウクライナ戦争の長期化が続き、世界的に厳しい一年となりました。国内では、新型コロナウイルス感染症対応が続く中、社会経済の再構築やAIをはじめとしたデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展が進むなど、大きな変革の兆しが見えた年でもありました。

そのような中で、白岡中央総合病院は「先んずるが、価値!～ Be the first Penguin!～」という目標のもと、多くの挑戦を乗り越えてきました。特に、2024年度の診療報酬改定への対応は大きな課題でありましたが、職員一同の努力により、診療体制や運営の見直しを通じて、高い水準の医療を維持することができました。また、感染対策向上加算1の取得、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)、緩和ケアチームあるいは身体拘束最小化チームの結成などの取り組みにより、安全で質の高い医療の提供を一層強化することができました。

2025年は、新病院移転計画が本格化する重要な一年となります。この移転計画は、白岡市にもご協力いただき、密接に連携しながら進めています。新病院では最新の設備と技術を導入し、地域の皆さまにこれまで以上に安心と満足を感じていただける医療環境を提供することを目指しています。この移転は、地域全体の医療水準を向上させる大きな契機となるものと考えております。

ポストコロナ時代を見据えた変革とともに、私たちは地域医療の新たな価値を創造するために全力を尽くしてまいります。医療介護分野のイノベーションを積極的に推進し、「不易」を堅持しながらも、未来志向の医療を実現してまいります。

本年が皆さまにとって健康で笑顔あふれる一年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、引き続きのご支援とご指導をお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。

2025年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

ここ数年間、私達医療職は医療業界を取り巻く環境において、感染症の対策や災害時支援など、より柔軟性と専門性を持った敏速な対応が求められると感じております。そのため当院は、地域の皆さまの健康と暮らしを支えるため、医療・看護・介護においての変化に対応し、進化をしていかなければならないと切に感じております。看護部におきましても、外来通院・入院

加療・在宅療養において、患者さまやそのご家族の思いに寄り添った、誠実な看護の提供を目指し、チーム力を高められるよう努力していきたいと思っております。

新たな年が、皆さまにとって健康で平安な一年となりますよう、祈念いたします。

2025年も地域の皆さまに寄り添い、皆さまを支える医療・看護・介護の提供に尽力して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部長 高崎 貴子

謹賀新年

新しい年を迎え、皆さまに心よりご挨拶申し上げます。昨年は、白岡中央総合病院の様々な事業に対しましてご支援、ご指導、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

私は昨年8月に着任いたしました、山中と申します。14年前まで当院で勤務していた経験があり、再び皆さまの健康を支えるための仕事ができることを大変嬉しく思っております。

当院は昭和53年6月の開設時から地域の皆さまと共に歩み、48年目を迎えます。

昨年末には健診センター内に婦人科検診専用ブース設置工事を行ない、今年から婦人科の検診枠を拡大いたしました。これにより、女性の

皆さまにもより充実した健康管理を提供できるよう努めて参ります。

また、当院は新病院建築計画を進めており、新しい環境でさらに質の高い医療サービスを提供できるよう準備中です。稀に見る物価高騰などの様々な困難が立ち塞がっておりますが、新病院移転に関する具体的な情報が整い次第、皆さまにお知らせし、皆さまと共に新しいステージへと進んで参りたいと思います。

これからも皆さまの健康と安心を第一に考え、職員一同、全力でサポートさせていただき所存です。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

事務長 山中 康裕

新 入 職 医 師 紹 介



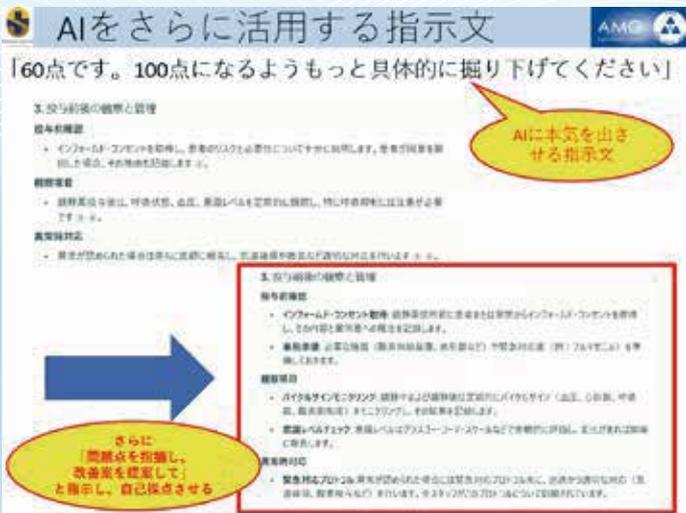
消化器内科 柴田 照久 医師

2024年10月より消化器内科として入職しました。これまで、福岡県内の複数の総合病院で初期研修医や内科専攻医に対し消化器科をメインに内科全般の指導を行ってきました。直近の勤務先では老人医療を中心に在宅、訪問診療などに携わってきました。今回4年ぶりに消化器内科として勤務するご縁をいただきました。消化管、胆膵内視鏡による診断治療を中心に内科全般の外来なども担当します。微力ながら地域の皆さまのお役に立てればと思います。宜しくお願いいたします。

AI × 医療現場

マニュアル作成の精度向上、
効率化がもたらす、
薬剤適正使用への貢献

▼実際に使用したスライドより



2024年度第2回薬剤安全セミナーにて「AI×医療現場 マニュアル作成の精度向上、効率化がもたらす薬剤適正使用への貢献」と題した講演を行いました。本セミナーはZOOMを使用したWEB形式で開催され、全国の医師、看護師、薬剤師など約200名の病院関係者が参加しました。

講演では、AI技術が業務のあらゆる分野で活用される中、医療現場においてもその効果が期待されていることをお伝えしました。特に、AIによるマニュアル作成の効率化や精度向上が医療安全を強化し、薬剤適正使用の推進につながる点について解説しました。

私たちは今後も最新技術を積極的に活用し、安全で質の高い医療提供に努めてまいります。

薬剤部 馬場

地域の皆さまとともに

～秋の彩フェスタに参加して～

2024年11月23日に開催された「しらおか秋の彩りフェスタ」に参加させていただきました。今回は、将来を担う子供たちに医療への関心を持っていただくことを目的に、体験型のブースを出展。医療体験コーナーでは、実際の医療現場で使用している器具を用いた体験を実施し、多くの子供たちが医師や看護師のユニフォームに身を包み、聴診器での心音確認やシリンジの取り扱いなどを体験しました。また、健康増進の取り組みとして骨健康測定コーナーを設置。多くの方々に骨の健康度を測定していただき、当院の医療スタッフが丁寧に結果説明を行いました。地域の皆さまと直接触れ合い、当院への理解を深めていただけたことを大変嬉しく思います。今後も地域に根ざした医療機関として、皆さまの健康づくりをサポートしてまいります。

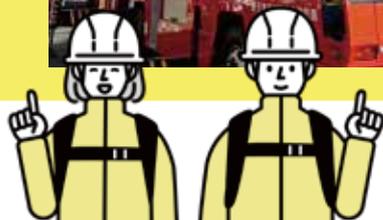
医療体験コーナーで体験をする子どもたち



実施しました
防災訓練を



2024年11月29日、当院にて防災訓練を実施しました。今回は5階から火災が発生したという想定のもと、職員一丸となって訓練に取り組みました。特に、消防署の協力を得てはしご車を使用した救助訓練も行い、迅速かつ安全な患者さまの避難方法を確認しました。この訓練では、有事の際に患者さまや職員の安全を守るための連携体制や誘導手順を再確認することができました。また、当院は災害時の拠点病院として地域医療に貢献する役割も担っています。そのため、今後も防災体制の強化に努め、地域の皆さまが安心して頼れる病院であり続けられるよう取り組んでまいります。引き続き、安全で信頼される医療環境の構築に向けて努力してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



認定看護師活動報告～認知症看護認定看護師～

認知症看護認定看護師の藤田といいます。認定看護師4年目となります。皆さま方に認知症看護認定看護師の役割を知っていただきたいと思い、認知症看護認定看護師の教育基準カリキュラムにおける期待される能力と自身の日々の活動内容を照らし合わせながら紹介したいと思います。

認知症看護認定看護師 藤田

認知症看護認定看護師に期待される能力

1. 認知症者の意思を尊重し、権利を擁護することができる
2. 認知症の発症から終末期まで、認知症者の状態像を統合的にアセスメントし、各期に応じたケアの実践、ケアの体制づくり、家族のサポートを行うことができる
3. 認知症の行動心理症状(BPSD)を悪化させる要因・誘因に働きかけ、予防・緩和することができる
4. 認知症者にとって安心かつ安全な生活・療養環境を調整することができる
5. 他疾患合併による影響をアセスメントし、治療的援助を含む健康管理を行うことができる
6. 認知症に関わる保健・医療・福祉制度に精通し、地域にある社会資源を活用しながらケアマネジメントできる
7. 認知症看護の実践を通して役割モデルを示し、看護職に対する具体的な指導・相談対応ができる
8. 多職種と協働し、認知症に関わる知識の普及とケアサービス推進の役割を担うことができる

活動報告

当院では今年度より「身体的拘束最小化チーム」が発足し、チームの一員として、指針等の改訂のほか、病棟ラウンドを行っています。月1回のラウンドを行い、対象となる患者さまを「認知症ケア院内ラウンド」へ引き続き、ケアの再考、代替えとなるケアの提供に繋がるかわりを継続的に行っていきたいと思い、普及活動を兼ねてきざはしに載せました。



4年間の活動において、院内研修のほか、製薬会社、老人保健施設、病院等、多岐にわたり研修を行っています。研修内容に関しては、依頼内容によって様々ですが、認知症の方の関わり方や行動の意味を理解し、その方に必要となるケアの提供やケアの振りかえり等を一緒に取り組んでいます。



◀ 院内・院外研修資料より

「地道にコツコツ」を目標にこれからも活動を行い、ケアの広がりを進めていきたいと思っています。

2024年度 市民公開講座

内容

急変時の対応について(仮)

日時

2025年3月1日(土)
14:00~15:30(開場13:30~)

講師

松山 尚弘 副院長

会場

白岡中央総合病院 管理研修棟会議室

※ご予約不要(途中参加、途中退席は自由です)



お問合せ

白岡中央総合病院 地域医療・連携部 ☎0480-93-0661(代表)



婦人科内診室 改修工事中。

1月 完成予定

詳細は後日お知らせします。

健診センター



より充実した内容で健康管理をサポートできる環境を整えてまいります。

介護付き有料老人ホーム さわやかしらおか館

〒349-0217

埼玉県白岡市小久喜948番地1

☎ 0480-48-5933

Youtubeにて当施設の
様子をご覧ください▶



お部屋情報

お部屋の広さ：18㎡(畳10畳～12畳)
エアコン/電気/ベッドクロゼット/洗面所/トイレ/コール備えになっております。
(トイレとベッド付近2カ所あり)

2020年2月1日介護付き有料老人ホームとして開所し、4年になります。当社が、北九州にあります。私共の理念であります「慈愛の心・尊厳を守る・お客さま第一主義」慈愛とは、親が自分の子どもに対するような深い愛や「いつくしむ」と読み、可愛がり大切にすることを意味します。「愛」とは、いとおしいと思う気持ちを表します。そういう気持ちで優しくいたわることを意味します。私達は、家族の様にご入居者さま、ご家族さまとのお支援を目指しております。もう一度、諦めていた人生をチャレンジしてみませんか?しらおか館は、白岡中央総合病院から一番近い有料老人ホーム施設です。そのおかげで日々白岡中央総合病院さまのご協力もあり通院、入院、紹介等にお力頂いております。

当施設では行事がたくさんあり、毎年、職員と入居者の皆さまで門松コンテストを開催したり、2月にはマグロの解体ショーや美味しいお寿司を楽しめるイベントを行っています。また、地域の方々手作りして下さった飾りを活用させていただいたり、温かいご支援をいただきながら運営しています。



編集後記

広報委員会 福田

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も安全で確実なわかりやすい医療を提供していきます。皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。



taylor shop

Shiraoka Central
General Hospital

used car dealer

veni



医療法人社団 哺育会
白岡中央総合病院

〒349-0217
埼玉県白岡市小久喜938番地12

TEL: 0480-93-0661
FAX: 0480-92-8462



Instagram 更新中!

目で見て楽しい情報をお届けしています。いいね!フォローをお願いします。



Facebook ページ公開中!!

白岡中央総合病院のことを、より身近に感じていただけるよう Facebook のページを公開しています。ぜひ、ご覧ください。



パーソナルリハ SHIRAOKA!

一人ひとりのニーズにお応えする新しい自由診療(保険適応外)サービスです。



白岡中央総合病院 公式ページ

白岡中央総合病院

検索

<https://www.scghp.jp>

